

【資料3】

会議資料

企画財政課
令和7年9月8日

- ① 第2期総合戦略の振り返り
 - 1. 戦略2の全体像
 - 2. 成果と課題
 - 3. 令和6年度までのKPIの達成状況
- ② 関連計画の方向性
 - 1. こども計画(R7ーR11)
 - 2. 教育振興基本計画(R5ーR9)
- ③ 次期総合戦略の方向性と事業案
 - 1. ライフステージに応じた子育て支援
 - 2. 教育環境の充実
 - 3. こども・若者の包括的支援

現行の総合戦略に掲げる戦略2の全体像

戦略2 府中市で育てる ～安心して出産・子育てができる環境をつくる～

【ねらい】
多様化する子育てニーズに対応した子育て支援、保育サービスの充実を図る。特に、妊娠から出産、育児をトータルサポートする府中版ネウボラの構築により、若い世代が子育てに希望を持ち、安心して子供を産み・育てられる環境をつくる。教育DXの推進を含めた教育環境と教育実践を充実させ、教育のトップランナーを目指す。また、児童虐待や発達障害といった問題をサポートする体制をととのえるなど、子供たちが安心して学べる学校づくりを推進する。幼児期から一貫した教育の充実とサポート体制の構築により、子供たちの資質・能力を育み一人ひとりの「可能性」と「チャンス」を広げる。

戦略2の体系図

子育て・教育一番（重点区分A）		
①	府中版ネウボラ	専門知識を持つ職員（保健師・保育士など）の配置、府中版ネウボラの構築による子育て支援
②	教育のトップランナーの取組	タブレット端末の活用、コミュニティスクールなどの取組で教育環境と教育実践を充実
③	幼保一小・中一高校の連携	保育機関と教育機関の連携強化と市内3高校の魅力開発により幼少期から青年期まで切れ目なく一体的な教育を推進

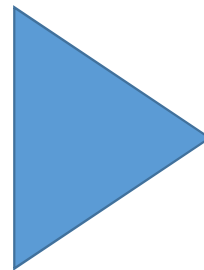
事業項目ごとの成果と課題

(① 府中版ネウボラ)

No.	事業項目	これまでの具体的な取組内容	これまでの評価			
			進捗	ニーズ	費用対効果	KPIへの貢献度
1	不妊治療費助成など、妊娠に至るまでのサポート体制	R4年度以降、不妊検査や（一般・特定）不妊治療などにかかる費用負担に対する助成制度を複数実施した。	順調	○	○	△
2	妊産婦支援（妊娠後期の面接訪問事業・産婦健康診査費用助成事業）	妊産婦に対し、応援レターの送付、妊娠後期面談、健康診査費用への助成、産後のケアなど幅広くサポートを実施した。	順調	○	○	○
3	子育てステーションによる子育て支援の充実（子育て相談、親子ひろば、子育て講座等）	府中天満屋i-coreFUCHU内に子育てステーションちゅちゅを開設し、妊娠期から子育て期まで保健師・保育士・公認心理師等の専門職が切れ目のないサポート体制として、ネウボラ拠点を整備した。	完了	○	○	○
4	子供の予防的見守り支援（AIによるリスク予測分析と家庭や子ども達へのアプローチ基準策定）	R5年度からこどもサポートチームを創設し、予防的見守りの体制を整えるとともに、R6年度には広島県と共同で虐待リスクの抽出ができるAIを活用したシステムを構築した。	完了	△	△	△

成果：

- ・精神的苦痛や経済的負担の大きい不妊・不育治療などへの支援により、利用者の負担軽減に寄与した。
- ・妊娠後期の面談率が他市と比して高く、面談結果からきめ細やかなサポートにもつながられた。
- ・子育てステーション(ちゅちゅ)を相談しやすい環境として整備したことで、想定を大きく上回る利用者に活用いただき、子育て世帯へのアプローチ強化にもつながった。



課題：

- ・妊産婦支援の一環としてはじめて産後ケア事業については、府中市内に受け入れられる医療機関がない、出産直後に近隣市町まで移動する必要がある、1日当たりの利用料が負担、などの理由から利用者数が少ない。

事業項目ごとの成果と課題 (② 教育のトップランナーの取組)

No.	事業項目	これまでの具体的な取組内容 (未実施の場合当初予定)	これまでの評価			
			進捗	ニーズ	費用対効果	KPIへの貢献度
1	府中「GIGAスクール構想」ステップアップ事業（教育DXの推進）	学校での授業や家庭、地域でのタブレット端末の活用 ICTリテラシー教育の実施 統合型校務支援システムの導入・活用	完了	○	○	△
2	府中市独自カリキュラム「ことば探究科」の実施	指導者の養成 授業研究の実施	順調	○	△	△
3	コミュニティ・スクールの推進	地域の特色を生かした「社会に開かれた教育課程」の実現 学校と地域を繋ぐ拠点づくり	順調	○	○	○
4	教育課程研究センターの設置	府中市の「教育課程」の研究機構として教育課程研究センターを設置し、学びを充実・加速	順調	○	△	△
5	学びのセーフティネット構築	教育センターと上下中学校内に教育支援センターを整備 「府中市生徒指導支援チーム」の充実。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、府中市教育支援センター指導員の導入 匿名相談アプリの導入	順調	○	○	○

成果：

- ・GIGAスクール構想に基づく児童生徒へのタブレット端末の整備や校務支援システムの導入により、学校の内外での教育のデジタル化が進展。
- ・府中市全体でのコミュニティ・スクールの取組が評価され、これまでに3校が文部科学大臣表彰を受賞。全国での先進地域の一つとして、多くの視察を受け入れている。
- ・市の独自カリキュラム「ことば探究科」を創設し、市内の全小中学校において実施。

課題：

- ・タブレット端末のさらなる活用など、教育のデジタル化の可能性について研究が必要。
- ・コミュニティ・スクールについては、次のステージを見据えた取組が必要。
- ・ことば探究科の取組や教育課程研究センターによる課題分析などにより指導者の質は着実に向上しているものの、児童生徒の学力に成果が反映されるまでは時間を要する。

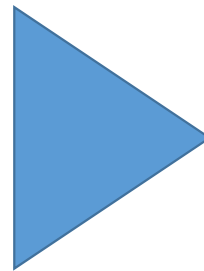
事業項目ごとの成果と課題

(③ 幼保一小・中一高校の連携)

No.	事業項目	これまでの具体的な取組内容 (未実施の場合当初予定)	これまでの評価			
			進捗	ニーズ	費用対効果	KPIへの貢献度
1	幼保小の連携	年長から小学1年生へのスムーズな進学を図るため、授業見学などの交流を実施。 幼保小の連携のための全体会議やブロック会議などを定期的開催。	順調	○	—	△
2	中高の連携	「府中市の学び環境を幼保小中高大・地域・産業界で協働する連携構想」の中で、市内3高校の特色などを義務教育段階のガイダンス情報につなぐ。	順調	○	—	△
3	高校の魅力化 (上下高校)	学校-地域-行政が一体となった魅力づくり 天領あやめ塾（進学コース）による学習支援や地域魅力づくりコースによる愛郷心の育成 通学環境の整備（下校支援バス、下宿支援補助金、通学費支援補助金）	順調	○	△	—

成果：

- ・入学前の授業見学や入学後の保育士との交流の継続などにより入学直後の不安を軽減し、スムーズな進学につながった。
- ・下宿支援補助金を活用して下宿先が整備され、今年度計13人を受け入れることができた。



課題：

- ・上下高校の魅力向上に向け、天領あやめ塾での学習支援や通学環境の整備に取り組んできたが、これらの取組は地域の学生の進学につながっておらず、地域課題である上下高校の存続に寄与できていない。

第2期総合戦略の振り返り 令和6年度までのKPIの達成状況

- ・子育てステーション(ちゅちゅ)の設立後、早い段階で令和7年度目標である利用者数10,000人を超え、以降も目標値以上の利用があることから、施設に対するニーズは非常に高い。
- ・全国学力・学習状況調査における平均正答率は目標値に対し下回る結果となっている。
- ・肯定的に回答した児童の割合は目標値に達していない。

K P I		基準値R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値R7
子育てステーション利用者数（年間 オンライン利用を含む）	目標		6,800	7,600	8,400	9,200	10,000	10,000人
	実績	6,000人	6,367	11,890	13,693	11,871		
「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（％） ※小6国語・算数、中3国語・数学の4科目のうち最高点と最低点	目標		62-75	65-77	75-80	77-80	80	80%
	実績	54-72%	58-74	48-68	46-68	54-68		
「全国学力・学習状況調査」における質問紙調査「学校に行くのは楽しい」に肯定的に回答した児童生徒の割合（％） ※小6、中3を対象	目標		86-88	86-88	88	90	100	100%
	実績	82-87%	81-84	82-84	76-79	81-83		

戦略2の成果

PDCAサイクルによる成果の振り返り：

1. 府中版ネウボラによる妊娠期から子育て期までの一貫支援体制の構築

妊娠届け出時から相談・支援を一体で行う体制を確立した。また、すべての人の妊娠・出産・育児をサポートし、笑顔で子育てができる場所としてネウボラ機能を備えた子育てステーションを整備した。

2. 子育て支援制度の拡充とサービスの多様化

こども医療費助成対象拡大、0歳からの保育料無償化、産婦人科・小児科オンライン相談、子育てハンドブック整備などを実施した。

3. 教育環境のハード環境整備と先進的取組

GIGAスクール構想により、1人に1台、タブレット端末の整備を完了した。また先進的な取組として、コミュニティ・スクールの実践や府中市小中一貫独自教科である「ことば探究科」を展開している。

4. コミュニティ・スクールの活動を通じた地域との連携強化

学校・地域・保護者などの連携のもと、各学校で地域の特色を生かしながら、こどもたちの主体性を育む教育実践を展開している。本市のコミュニティ・スクールと地域学校協働の実践は全国での先進地域として、高く評価されている。

関連計画の方向性

◆こども計画（R7-R11）が目指す姿

- 【切れ目のない支援】 妊娠・出産から子育て・教育までの切れ目のない支援体制の強化
- 【地域・家庭・行政の連携】 子育て支援を地域・企業・家庭・行政が一体となって担う仕組みづくり
- 【多様性への対応】 支援を必要とする子どもや外国人家庭等に配慮した個別的支援の充実
- 【セーフティネット環境の確保】 予防的支援の拡充等を通じて、安心して生活できる社会づくり

◆教育振興基本計画（R5-R9）が目指す姿

- 【包括的教育の推進】 いじめ・不登校対策、特別支援教育、教育相談の体制強化による「誰一人取り残さない」学び
- 【ICT・探究学習の活用】 GIGAスクール構想により、個別最適な学びと協働的学びを促進
- 【地域との連携】 コミュニティ・スクール、公民館の活用などで地域との連携強化
- 【生涯学習社会の実現】 公民館等を活用した社会人の学び直し・地域参画により地域づくりに活かされる学び

これまでの会議における議論のポイント

- 全体の方向性について【これまでの振り返り】

- 人口減少は地方都市で共通している課題。

競争領域(市が差別化を図る部分)と協調領域(広域で協力して取り組むこと)の設定が重要。

- 女性や若者をターゲットにしている点は地方都市共通の方向性。

その中で高齢者についてどう考えていくかを示すことが重要。

- ポジティブな方向性として「活躍できるまち」を目指すという思いは一致。

そのために何をするか、というところでは“府中ならでは”を真摯に考えていく必要がある。

- 府中市を選ばれた人の声を拾い上げることが、府中市の強みとは何かを改めて認識することにつながる。

- 若い世代と高齢者が共存し、「(誰もが)活躍できるまち」であることを府中市の強みとし、この部分に関する踏み込んだ議論が必要。

⇒府中市に関わるあらゆる人が活躍できるよう、すべての分野で幅広く支援していくことが必要。

⇒ものづくりや教育など、府中市の強みとなる分野を中心に施策を展開していくことが求められる。

- 子育て・教育分野について

- 市の魅力である子育て・教育施策が子育て世代以外の市民に伝わっていない。

世代間での情報の広がり方の違いに対し、行政としてどうアプローチしていくか示す必要がある。

- 子どもの緊急時には頼れる家族の存在や仕事と両立できる環境が必要。

事業者だけでなく行政の打ち手の検討が必要。

⇒子育てのまち・教育のまちとしての施策の充実、認知度向上に向けた市内外への広報活動の強化が必要。

次期総合戦略 戦略2の全体像(案)

①ライフステージに応じた子育て支援

- 妊産婦支援【継続】
- 経済的負担の軽減【継続】
- 親子の成長と交流の場の支援【継続】
- 情報発信の強化【継続】

②教育環境の充実

- 生涯学習大学(仮称)構想の実現【新規】
- 小中一貫教育の強化【継続】
- キャリア教育【継続】
- デジタル化の推進【継続】
- コミュニティ・スクールの推進【継続】
- 情報発信の強化【新規】

③こども・若者の包括的支援

- こどもの予防的支援の構築【継続】
- こども食堂・ヤングケアラー対策・いじめ対策【継続】
- 障害のあるこども・若者の支援【継続】

課題と情勢を踏まえた新たなプロジェクト

① ライフステージに応じた子育て支援

【取組の目的】

府中市に住む子育て当事者が、安心・安全にこどもを生み育てるため、妊娠、出産、子育てなどのステージに応じた支援を行うとともに、女性や若者が活躍できる男女共同参画に向けた子育て支援を推進する。

○妊産婦支援【継続】

-不妊治療費助成、面接訪問、産婦健診費用助成などにより、妊娠前から子育て期までを切れ目なく支援する。

○経済的負担の軽減【継続】

-保育料無償化、医療費助成などの取組により、子育て世代にかかる経済的負担を軽減する。

○親子の成長と交流の場の支援【継続】

-子育て中の親の社会参加を促進するための環境づくりや、男性の育児支援、親子等での参加イベント開催といった保護者がこどもと関わる機会を拡大する。

○情報発信の強化【継続】

-子育て世代に限らず、市全体に向けて子育て施策に関する情報を発信することで、市民の子育てに対する理解を深める。

課題と情勢を踏まえた新たなプロジェクト

② 教育環境の充実

【取組の目的】

府中市の児童生徒が自律した学び手となり、自ら獲得した力で未来に挑戦し、多様な他者と協働して新たな価値を創造するための「学力」及び「学びに向かう意欲」の向上を図り、将来にわたって活躍する力を育てるとともに、市民一人一人の生涯にわたる主体的な学びを通じて自己実現や社会参画の実現を支援する。

○生涯学習大学(仮称)構想の実現【新規】

-「市民とともにつくる生涯学習大学」のコンセプト実現に向け、生涯学習センターを中心に実施している生涯学習プログラムへの多様な世代の参画や公民館との連携強化などにより、主体的な学びの場を創出し、市民一人一人の自己実現や社会参画を支援する。

○デジタル化の推進【継続】

-これまでに体制を整えてきた全校児童生徒に配布したタブレット端末のさらなる活用、校務支援システムの活用拡大に加え、教育の現場におけるAIの活用など新たな潮流を取り入れ、すべての生徒がデジタル化の流れに取り残されないための取組を促進する。

○小中一貫教育の強化【継続】

-9年間のゴールを見通したカリキュラムの作成や個別最適な学びの実現に向けた市独自の取組を通じて着実に児童生徒の資質や学力などを高める。

(次のページへ続く)

課題と情勢を踏まえた新たなプロジェクト

② 教育環境の充実

○コミュニティ・スクールの推進【継続】

-学校・家庭・地域の協働による「社会に開かれた教育課程」のさらなる充実を図るとともに、子どもたちが主体的にコミュニティ・スクールに参画する次のステージを目指す。引き続き、コミュニティ・スクールの原点に関わる者が共有し、地域と学校が協働してこどもたちの自発的な成長を促進する機会を創出する。

○キャリア教育【継続】

-これまで取り組んできたキャリアスタートウィークの実践を踏まえ、児童生徒が主体的に地元企業での体験を通じて学びを深めるとともに、自らの経験を活かしたプレゼンテーションの実施など、単なる職場体験ではなく、「働くことの意義」、「学び続けることの大切さ」、「社会における様々なつながり」などを理解し、将来の主体的な進路選択に向けた意欲と郷土愛を培う。

○情報発信の強化【新規】

-市の強みである教育施策を広報やウェブサイト等で紹介するとともに、市外在住者向けにSNS等による発信を行う。

-児童生徒自らが府中市の教育の魅力について知り、外部に向けて発表する取組を行う。

課題と情勢を踏まえた新たなプロジェクト

③ こども・若者の包括的支援

【取組の目的】

一人ひとりのこどもの権利を尊重し、保障、擁護する環境づくりを推進する。

○こどもの予防的支援【継続】

-こども家庭センターを中心とする専門性をもった相談・支援体制の強化や関係機関の連携・協働により、虐待の未然防止等に取り組む。

○こども食堂、ヤングケアラー対策、いじめ・不登校対策【継続】

-子どもたちが安心して学べる環境をつくるとともに、学校生活を送ることが困難な子どもたちに対して、教育支援センターなどを通じて学校生活を円滑に営むことができるよう、家庭・学校・地域及び関係機関との連携を強化する。

○障害のあるこども・若者の支援【継続】

-障害のあるこどもや若者とその保護者に対して、一人一人の状況に応じたきめ細やかな支援を行うとともに、自立や社会参加を目指して主体的に取り組むことができるよう支援を行う。

今後のスケジュール

回数	開催時期	議論の内容
	策定委員会	
第1回	令和7年5月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略概要の説明 ・各課の関連施策の整理
第2回	令和7年7月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・次期総合戦略の方向性の説明 ・意見交換
第3回	令和7年7月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・素案審議 <ul style="list-style-type: none"> -戦略目標1:産業 ・意見交換
第4回	令和7年9月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・素案審議 <ul style="list-style-type: none"> -戦略目標2:子育て・教育 ・意見交換
第5回	令和7年10月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・素案審議 <ul style="list-style-type: none"> -戦略目標3:まちづくり・観光・スポーツ -戦略目標4:防災・健康・福祉 ・意見交換
第6回	12月中旬ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略素案審議
パブコメ	令和8年1月(1か月程度)	
第7回	令和8年2月ごろ(書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果公表 ・次期総合戦略の提示